



台湾最大の食品展示会で「秋田牛」をPR!

6月27～30日に台湾の台北市で開催された台湾最大の食品展示会「フード台北」において、秋田牛のPRを行いました。試食提供や料理教室で秋田牛を味わってもらったところ、多くの方々から「美味しい」と評価をいただきました。

日本から台湾への牛肉輸出は、昨年7月に解禁され、これまでに1.4トンの秋田牛が輸出されました。

今後も、タイに続き台湾でも、PR等販路開拓に取り組み、輸出拡大を促進していきます。



秋田牛「ステーキ和風オムライス」のレシピ解説

秋田牛TOPICS

秋田牛ブランド推進協議会 総会・研修会を開催

6月12日に、秋田牛ブランド推進協議会の総会が開催されました。ブランド確立に向けた今年度計画等について承認されたほか、役員改選により、佐竹会長ほか17名の役員が選任されました。

引き続き行われた研修会では、JA全農福島 畜産販売課長の小松良雄先生により、福島牛ブランドの取組についてご講演いただきました。



JA全農福島 小松先生の講演

information

「秋田県和牛改良共進会」開催のお知らせ

8月19日(日)、あきた総合家畜市場において、「秋田県和牛改良共進会」が開催されます。出品区分1～4区において、24頭が出品予定です。

さらに「あきたの畜産・市場まつり」「移動畜産試験場in家畜市場」も同時開催します。ご家族で楽しめるイベントが盛りだくさんですので、皆様ぜひご来場ください!

8月19日(日)は
家畜市場へ!



編集後記

8月29日は「焼き肉の日」です。皆さんご存じでしたか? 「8(や(き))2(に)9(く)」の語呂合わせと、夏バテの気味の人に焼き肉でスタミナをつけてもらおうと、平成5年に「全国焼肉協会」が定めたそうです。(総務省統計局HP「なるほど統計学園」より)「秋田牛」を食べて、暑い夏を元気に乗りきりましょう!

秋田牛を
食べられる・
買えるお店は
こちらから



(秋田牛webサイト)



秋田牛便り Vol.12

平成30年8月10日

発行:秋田県農林水産部畜産振興課
TEL.018-860-1806

就農目指して、頑張っています! ～畜産試験場フロンティア研修生～



畜産試験場における繁殖実習



先進農家での研修(2年生)



営農計画作成中!

秋田牛ブランド確立のため肉用牛の生産基盤の強化が求められているなか、畜産の担い手を目指す若者たちが、県畜産試験場において「未来農業のフロンティア育成研修」に取り組んでいます。

本研修は、地域農業の優れた担い手の確保・育成を目的とした県独自の制度で、就農に必要な技術習得を目指す者が畜産試験場や先進農家で2年間研修するものです。

1年目は畜産試験場で、2年目は先進農家での現地研修等により、知識や技術を学んでいます。現在、肉用牛コースに5名が在籍しており、同じ志をもつ仲間とともに、県を代表する生産者を目標に、日々奮闘中です!

最近では、研修修了と同時に、国や県の事業を活用して畜舎等を整備し、経営の規模拡大を図る意欲的な担い手が増えてきています。

また、県や地域の中核的な農家に成長・活躍している修了生も多く、研修生の良き手本・先輩(指導者)になっているなど、新たな担い手育成にも大きく貢献しています。

研修生の今後の益々の活躍にご期待・ご注目下さい。



畜産試験場での研修にご興味のある方は、最寄りの市町村か
地域振興局、県農業研修センターへお問合せ下さい。



(農)ビクトリーファーム 大規模繁殖牛団地が完成!



平成30年3月、大仙市西仙北で肉用牛繁殖経営を行っている(農)ビクトリーファームにおいて、国の畜産クラスター事業を活用して同市協和地区に建設を進めていた大規模団地が完成しました。

受精卵移植技術を積極的に活用し、育種価の高い雌牛から採取した受精卵により市場ニーズの高い子牛を生産していく計画です。

今後、「秋田牛」の肥育素牛生産拠点としての活躍が期待されます。

事業概要

- 補助事業名◆ 大規模肉用牛団地整備事業
 取組主体名◆ 農事組合法人 ビクトリーファーム
 代表理事 菅原 優香
 整備内容◆ 繁殖牛舎／分娩舎／哺育舎／
 育成舎／堆肥舎2棟／
 堆肥発酵処理施設
 事業費◆ 421,577千円
 (うち国：157,202、県：30,000)

～牧場長からの一言～

県内最大規模の繁殖牛団地を建築するにあたり、家畜の健康管理と省力作業を第一に考えた畜舎を整備することができました。

スケールメリットを活かしつつ、健康な子牛を市場に上場できるよう努力してまいります。



育成牛舎にはフィードステーションを設置し、増体と個体・飼養管理の省力化を両立。



繁殖・育成牛舎はバイオベッド方式を採用。温水給与と併せ牛の健康管理は万全。

新種雄牛が躍進!! 県有種雄牛産子枝肉速報

●主な成績

血 統			性別	と畜 月 齢	枝肉成績			共励会名 (開催場所) 開催月	
父	母父	母方祖父			等 級	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積(cm)		BMS (No.)
徳糸茂	安茂勝	北景茂	去勢	31	A-5	520.5	66	12	第7回秋田牛枝肉共励会 (秋田・河辺) H30.7 優秀賞
義平福	安福久	平茂勝	去勢	28	A-5	559.0	71	11	第53回肉用牛枝肉共励会 (東京) H30.2 優等賞4席
松糸華	義平福	篤 桜	去勢	29	A-5	520.0	81	11	第53回肉用牛枝肉共励会 (東京) H30.2 優良賞
徳茂百合	龍 平	美津福	去勢	28	A-5	498.0	67	11	第53回肉用牛枝肉共励会 (東京) H30.2 優良賞
松糸華	百合茂	義安福	去勢	28	A-5	562.0	84	11	第5回秋田平鹿牛グループ研究会 (東京) H30.2
義平福	百合茂	美津福	去勢	29	A-5	542.0	74	11	第7回秋田牛枝肉共励会 (秋田・河辺) H30.7

※赤字は、新しい種雄牛。



牛の見方と飼養管理を実習「和牛振興研修会」

6月15日、あきた総合家畜市場において、和牛振興研修会が開催されました。4年後の第12回鹿児島全共に向け、技術研修と和牛後継者の知識向上を目的に、全和秋田県支部が主催したもので、各JAの青年部員や若手技術者を中心に約70名が参加しました。

午前の実習では、県有種雄牛「松糸華」の産子調査、子牛の見方と選び方、牛の調教と手入れの実習が行われ、午後の講義では、和牛登録事業、最新の和牛改良技術についての座学、鹿児島全共出品に向けた意見交換が行われました。



子牛の見方と選び方の実習



「松糸華」の産子調査



調教と手入れ実習



研修室での講義

第7回 秋田牛枝肉共励会の結果

7月22日に、秋田県食肉流通公社において、第7回秋田牛枝肉共励会が開催されました。

全県の秋田牛生産者39名が、71頭を出品。平均枝肉重量は527.5kg、4等級以上の上物率は90%、9頭がBMS No.12を獲得するなど、大変レベルの高い共励会となりました。

チャンピオン賞は、湯沢市の高橋満さん出品の美津照重産子。枝肉重量534.5kg、BMS No.12、肉質の良さが際立つ素晴らしい枝肉でした。高橋さんは、本共励会で3連覇を果たしました。



チャンピオン賞を獲得した高橋さん(上)と受賞枝肉(左)

●入賞者と成績

褒 賞	氏 名	父	母父	母方祖父	性別	枝重 (kg)	ロース (cm)	バラ (cm)	BMSNo.
チャンピオン賞	高 橋 満	美津照重	安福久	平茂勝	去勢	534.5	98	9.0	12
優 秀 賞	進 藤 俊 人	美津照重	第1花国	安平	去勢	646.0	94	10.5	12
優 秀 賞	後 藤 路 直	徳糸茂	安茂勝	北景茂	去勢	520.5	66	8.5	12
優 秀 賞	千 葉 義 彰	晴茂平	安福久	勝忠平	雌	475.5	82	8.5	12
優 秀 賞	遠 藤 邦 夫	直太郎	北平安	平茂勝	去勢	560.0	61	8.5	12
優 秀 賞	秋田仙北夢牧場	福増	茂勝栄	第1花国	去勢	578.0	88	9.4	11

※優秀賞は順不同